

# 第4次静岡県がん対策推進計画の中間評価方針



幸福度日本一の静岡県

# 第4次静岡県がん対策推進計画

## 第4次静岡県がん対策推進計画のまとめと今後の進め方

6年間の本計画期間の3年目(2026年度)において、計画全体の進捗状況の把握と総合的な中間評価を行うことを予定しています。この評価結果に基づいて、その後3年間に実施する施策の修正・追加等を行い、本計画の各目標の達成を目指します。また、6年目(2029年度)に国のがん対策推進基本計画の変更が予定されており、県も同年に新たな第5次計画の策定を予定しています。

# 中間評価の方針（案）

	(県) 第3次計画 中間評価	(国) 第4期計画 中間評価	(県) 第4次計画 中間評価（案）	考え方
①	全体目標及び数値目標の進捗状況の評価	全体目標及び分野別目標の進捗状況の評価	全体目標及び数値目標の進捗状況の評価	第3次計画、国計画と同様に実施
②	—	ロジックモデルによる評価	【目標達成困難の戦略】 ロジックモデルによる評価	メリハリを付けた評価のため、数値目標の達成が困難な戦略について、試行的にロジックモデルを活用して国計画と同様に実施
③	「具体的な戦術」の進捗状況評価	①②の判定及び施策の取組状況を踏まえて定性的・定量的に評価（コア指標を選定し、当該指標を重点的に評価）	①②の判定及び「具体的な戦術」の取組状況を踏まえて定性的・定量的に評価（国のコア指標を重点的に評価）	国計画と同様に実施
④	戦略ごとに総合評価	分野別にがん対策推進協議会として更に推進が必要と考える事項を記載	戦略ごとに更に推進していく取組を記載 必要に応じて数値目標の見直しについて記載	国計画と同様に実施

# 数値目標の目標達成状況の評価（案）

## 維持目標以外

評価区分		内容
◎	達成	「最新値」が「目標値」以上のもの
○	達成見込み	伸び率等から目標達成が見込まれるもの
△	達成可能	基準値から改善しているが、目標達成には、取組の強化等が必要なもの
●	達成困難	計画期間中の目標達成が困難なもの
—	評価不能	基準値からの更新がなく、評価できないもの

## 維持目標

評価区分		内容
◎	達成	「最新値」が「目標値」以上のもの
△	達成可能	「最新値」が「目標値」の85%以上100%未満のもの
●	達成困難	「最新値」が「目標値」の85%未満のもの
—	評価不能	基準値からの更新がなく、評価できないもの

➤ 主に「◎達成」「●達成困難」について、目標値の見直しを検討する。

# 中間評価のイメージ

## (全体目標の記載例) 1 喫煙する県民の割合を減らします。

最新値と基準値及び目標値を比較し、評価基準に沿って進捗状況を評価する。

項目	基準値	目標値	最新値	進捗状況
20歳以上の者の喫煙率	男性25.9% 女性 7.6% (2022年)	男性20% 女性 5% (2035年)	2026年 4月公表予定	-

## (記載例) I - 1 たばこ対策の強化

### <具体的な戦術の取組状況>

- 喫煙防止対策として、禁煙治療ができる医療機関や禁煙支援薬局等の情報収集・提供、保健指導従事者や事業所担当者等に対する禁煙支援に関する研修会の開催、地域薬剤師会と連携した薬局における禁煙相談を推進した。(健康増進課)

### ①数値目標の進捗状況

最新値と基準値及び目標値を比較し、評価基準に沿って進捗状況を評価する。

項目	基準値	目標値	最新値	進捗状況
喫煙により補導される中高生の人数	826人 (2022年)	0人 (2029年)	579人 (2024年)	△
肺がんの年齢調整罹患率(10万人当たり)	37.8 (2019年)	30.0以下 (2029年)	34.6 (2023年)	○
受動喫煙の機会を有する者の割合	職場 21.1% 家庭 6.6% 飲食店 22.4% (2022年)	職場 0% 家庭 3% 飲食店 15% (2029年)	2026年 4月公表予定	-

# 中間評価のイメージ

## (記載例) I-1 たばこ対策の強化

### ②ロジックモデルによる評価

・「目標達成困難」の数値目標がある戦略は、ロジックモデルを活用して評価する。

#### 施策の方向性・アウトプット

喫煙対策	基準値	目標	最新値	評価
コア指標 20歳以上の者の喫煙率	男性25.9% 女性7.6% (2022年)	男性20% 女性5% (2035年)	2026年4月 公表予定	-
喫煙により補導される中高生の人数	826人 (2022年)	0人 (2029年)	579人 (2024年)	△

#### 中間アウトカム

喫煙によるがんの発症を予防	基準値	目標	最新値	評価
肺がんの年齢調整罹患率(人口10万人当たり)	37.8 (2019年)	30.0以下 (2029年)	34.6 (2023年)	○

受動喫煙環境対策	基準値	目標	最新値	評価
望まない受動喫煙(家庭・職場・飲食店)の機会を有する者の割合	職場 21.1% 家庭 6.6% 飲食店 22.4% (2022年)	職場 0% 家庭 3% 飲食店 15% (2029年)	2026年4月 公表予定	-

## (記載例) I-1 たばこ対策の強化

### ③進捗状況の評価

- ・数値目標・ロジックモデルの指標の評価及び「具体的な戦術」の取組状況を踏まえて定性的・定量的に評価する。
- ・この際、国のコア指標に対応する指標がある場合には、当該指標を重点的に評価する。

- ○○などの取組を行っている。
- 喫煙により補導される中高生の人数は、・・・
- 望まない受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合は、・・・
- 肺がんの年齢調整罹患率(人口10万人当たり)は、・・・

### ④更に推進していく取組

更に取り組むべき事項、数値目標の見直しの必要性等を記載する。

- 若い世代を中心にたばこの害等に関する理解を更に深め、喫煙が健康に及ぼす悪影響についての普及啓発を強化する必要がある。
- ……
- ……

# 中間評価のスケジュール（案）

区分	R8											R9	
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
がん対策推進協議会	○ 第1回 3/18 【本日】				○ 第1回 7/13								○ 第2回
中間評価	○ 方針 の協議	⇐ 進捗把握、 中間評価案作成				○ 中間評価案 の協議	⇐ 中間評価最終案作成						○ 最終案 の協議